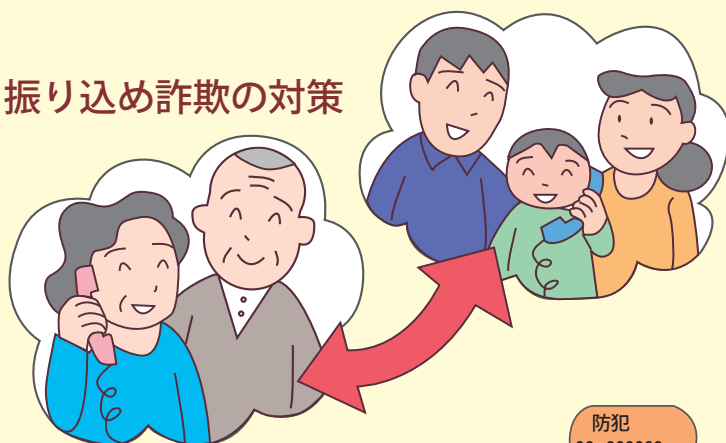


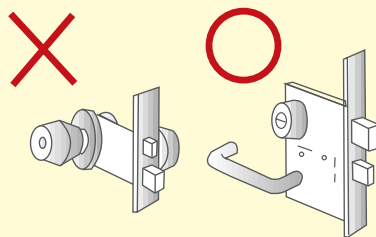
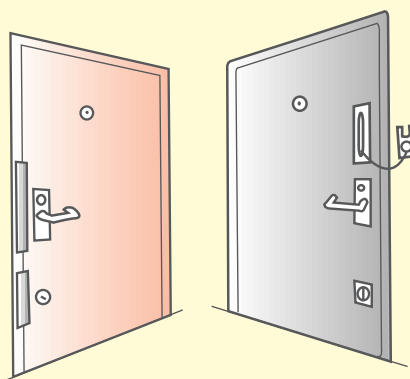
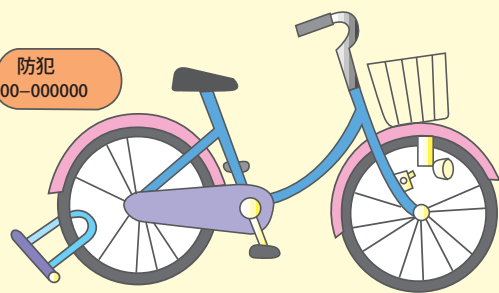
一人ひとりの防犯対策

振り込め詐欺の対策

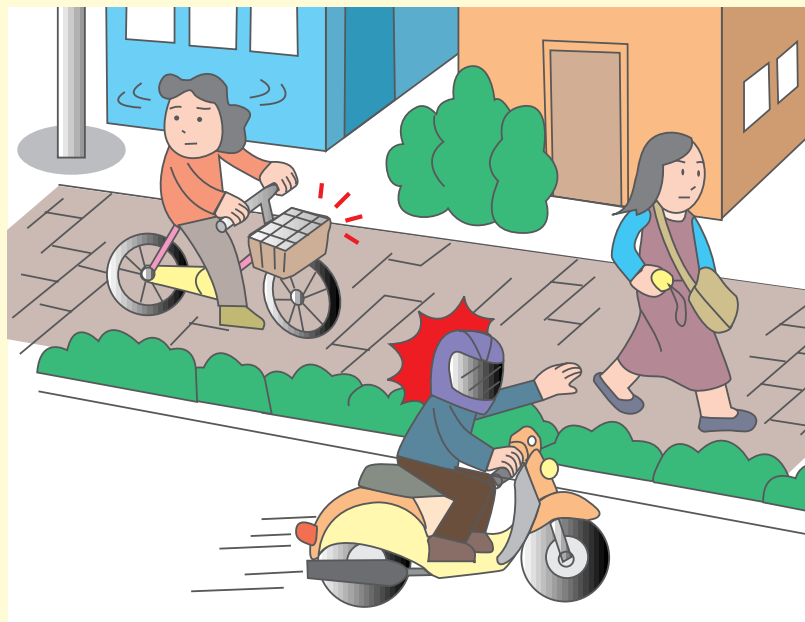


自転車盗

防犯
00-000000



ドアを強化する基本的な対策



ひったくり対策

安全・安心ハンドブック（個人編）

一人ひとりの防犯対策 目次

- 横浜市の防犯に対する考え方 1

- 住まいを守ろう 2
 - 戸建住宅のチェックポイント
 - 共同住宅のチェックポイント
 - 乗り物盗対策のチェックポイント

- 個人を守ろう 8
 - 気をつけることで、犯罪から身を守る
 - 話し合うことで、犯罪から身を守る

- 緊急連絡先、問い合わせ先

横浜市では、市民とともに安全・安心で快適な地域を実現していくため「よこはま安全・安心プラン」を策定し、市民の取組に積極的に関わり、支援を進めています。

このハンドブックは、プランの実践編として、市民一人ひとりから取り組んでほしい基本的な防犯対策をまとめたものです。ご家族やご近所、ご友人の方々にも呼びかけ、協力して取組を進めていってください。



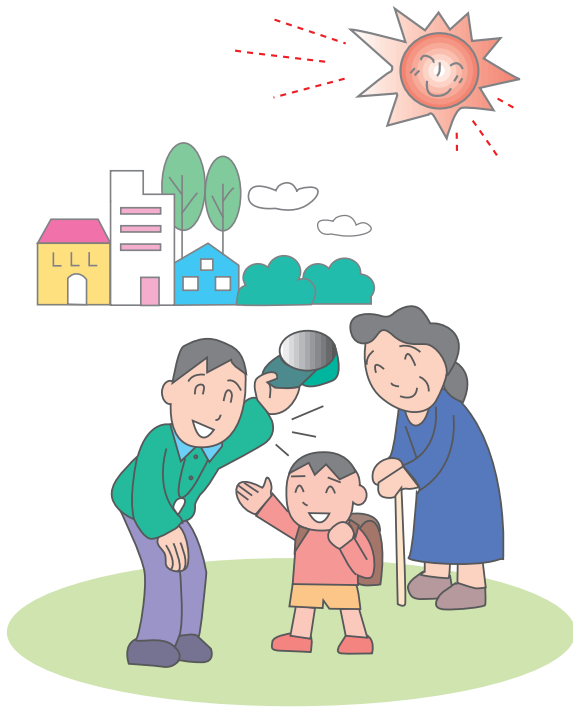
横浜市の防犯に対する考え方

横浜市では、地域における自主的な取組が力を合わせることで、犯罪を犯そうとしている人を寄せ付けない、犯罪に強く快適な地域を地域の皆さまと一緒につくることを目標としています。

このような目標を踏まえ、以下の基本方針を参考にしながら、「一人ひとりからの防犯対策」を進めていきましょう。

「よこはま安全・安心プラン」の基本方針

- 1 市民一人ひとりが自覚し取り組む
- 2 地域で力をあわせみんなで取り組む
- 3 様々な工夫を行い継続的に取り組む
- 4 地域の状況に応じて取り組む



このハンドブックの基本となる考え方

犯罪予防や犯罪不安感を軽減するためには、4つの原則があります。

■ 接近の制御

犯罪を企てる者が対象物に接近できないように動きを妨げ、犯行の機会を奪う。

例：侵入の足場となる物置小屋をなくすなど

■ 自然監視性の確保

犯罪を企てる者が常に人から見られる可能性のある環境をつくり、不審な行動を抑制する。

例：植栽をせん定し、周囲からの見通しを良くするなど

■ 被害対象の強化

被害の対象物の部材や設備等を破壊されにくいものにして、犯行に抵抗する。

例：ドアや窓、錠などを破壊されにくいものにするなど

■ 領域性の確保

なわばり意識やコミュニティの強さが感じられる環境をつくり、不審な者の侵入や滞留を抑制する。

例：マンションの敷地の周囲を花で飾るなど

周囲からの見通しを確保することが基本です。道路から接近しやすく、見通しが利きにくい位置にある窓や戸には、特に侵入防止に有効な対策を講じる必要があります

詳しいことは……

警察庁のホームページ：「住まいる防犯110番」

バルコニーへの侵入

【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
- バルコニーの手すりの見通しは良いか
- 侵入の足場になるものをバルコニーから離す
(塀、車庫の屋根、室外機、窓の庇、ひさし たてどい縦樋など)

玄関、勝手口からの侵入

【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
 - センサーライト、カメラ付インターホンを付ける
- 【ドアを強化する】⇒5ページ「注目！」参照
- ワンドアツーロックにする
 - 防犯性能の高い錠を使う
 - ドアのこじ開けを防ぐガードプレートを付ける
- ※郵便受けや明かり取りガラスから手や道具を差し込まれると、錠が開けられてしまいます。

塀、柵、垣等

【対策例】

- 塀、柵、垣の見通しは良いか
 - 乗り越えにくく、足場になりにくいものか
- ※家のまわりに、燃えやすいものを置かないようにしましょう

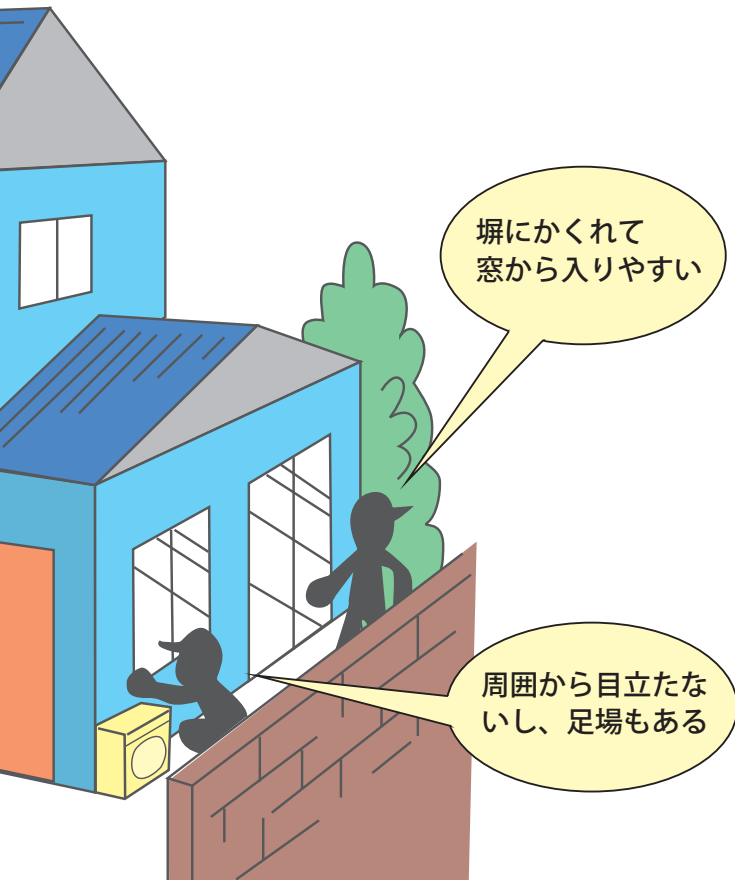




暮らし方の工夫も大切です

戸締りは基本…戸締りをしていない箇所を探し、侵入するケースも多く見られます。外出時や就寝時の戸締りや施錠を徹底しましょう。郵便ポストや玄関先の植木鉢の下などに合鍵を隠さないようにしましょう。

ご近所に一声かけてから…外出するときは、ご近所に一声かけてから出かけるようにしましょう。また、新聞を止めるなど、留守を悟られない工夫をしましょう。



掃き出し窓からの侵入

【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
 - 窓に接近されにくいよう注意する
- 【窓を強化する】⇒3ページ「注目！」参照
- 補助錠を取り付ける
 - 破壊に強いガラスを使う
 - 雨戸、シャッターを付ける
- (木製の敷居の場合、外れ止め金具も取り付ける)

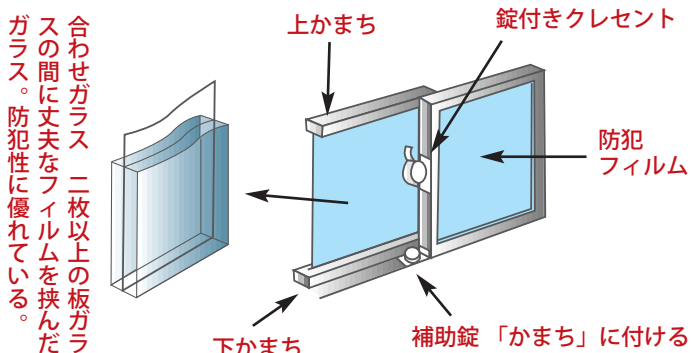
窓（腰高窓など）からの侵入

【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
 - 足場となるものを周囲に置かないようする
- 【窓を強化する】⇒3ページ「注目！」参照
- 補助錠を取り付ける

注目！ 窓を強化する基本的な対策とは…？

戸建住宅は、窓からの侵入が大半を占めています。その手口の多くは、ボール等でガラスを割る「打ち破り」をはじめ、ガラスの破壊が伴うものです。防犯フィルムや防犯合わせガラス、補助錠の使用などの対策が必要です。



共用部分については、周囲からの見通しや明るさを確保することが基本です。専用部分では、住戸の玄関、接地階及び共用廊下に面する窓への対策の他、バルコニーからの侵入に備える必要があります。

バルコニーの窓からの侵入

【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
- バルコニーの手すりの見通しは良いか
- バルコニー侵入防止のため、面格子等を付ける
 - ・ 共用廊下・階段や屋上バルコニーを通ったり、縦樋たてどいや窓の庇ひさしをはしご代わりに利用するなどして、接地階以外のバルコニーへ侵入するケースも見られます。

【窓を強化する】⇒3ページ「注目！」参照

- 補助錠を取り付ける
- 破壊に強いガラスを使う

共用玄関、その他の共用出入口

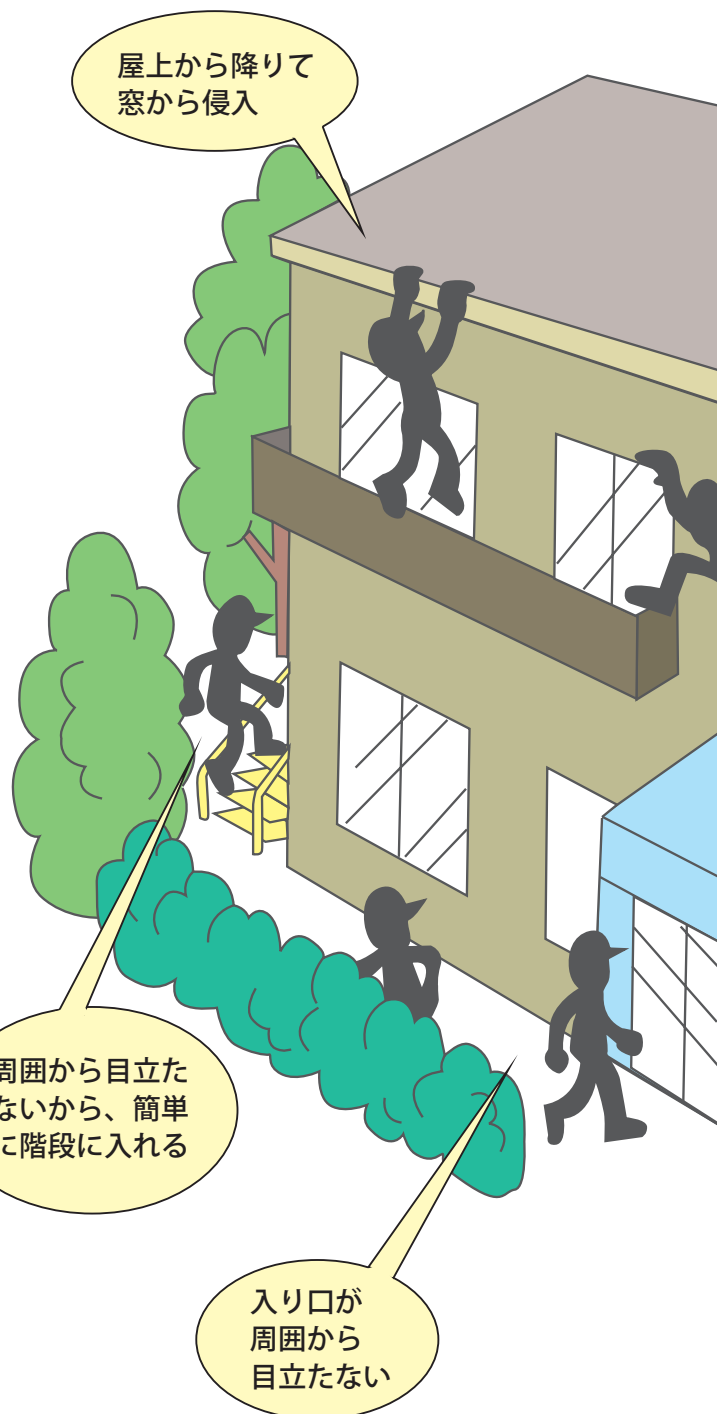
【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
- 適切な明るさを確保する
- カメラ付きインターホン、オートロックシステムを付ける
- 共用玄関の扉は内外を見通せるか
 - ・ 管理人室から、共用玄関、共用メールコーナー、エレベーターホールを見通せるよう配慮が必要です。

エレベーター・ホール

【対策例】

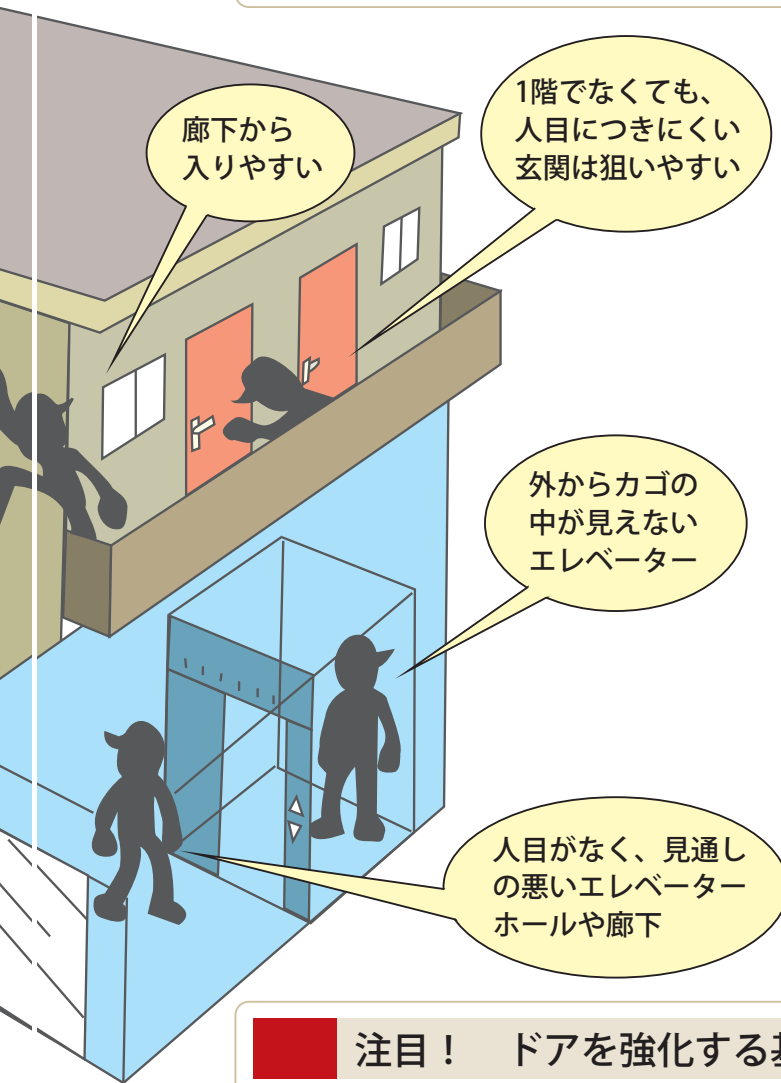
- 共用玄関や管理人室などからの見通しは良いか
- ホール及びカゴ内の明るさを確保する
- カゴ内の見通しは良いか（小窓、鏡等の設置）
- 防犯カメラを付ける
- インターホン等を付ける（非常時連絡用）





所有者や居住者同士の合意形成が大切です

共同住宅では、大家さんや管理組合の了承や、居住者などの合意形成が必要になることもあります。定期的に行われる計画修繕にあわせて、防犯対策を検討してみましょう。



共用廊下、共用階段

【対策例】

- 周囲からの見通しは良いか
- 適切な明るさを確保する
- バルコニーに侵入しにくい構造にする
 - ・ 共用廊下等に面した窓では、面格子や補助錠の設置等、侵入防止への注意が必要です。

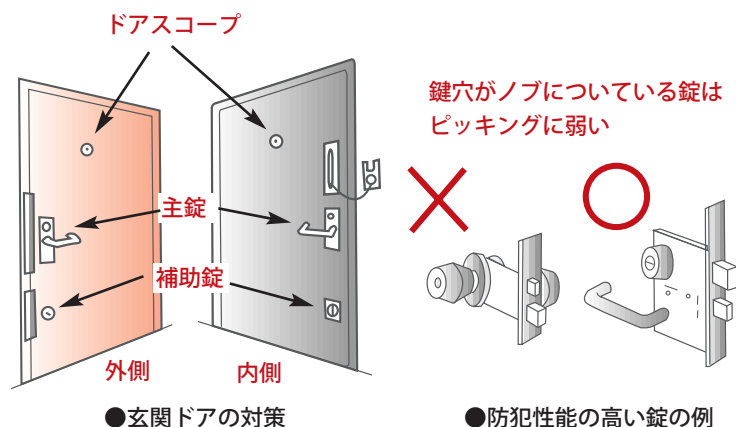
玄関からの侵入

【ドアを強化する】⇒5ページ「注目！」参照

- ワンドアツーロックにする
- 防犯性能の高い錠を使う
- ドアのコじ開けを防ぐガードプレートをつける

注目！ ドアを強化する基本的な対策

共同住宅は、低層、中高層とも、玄関からの侵入が最も多く見られます。「ピッキング」をはじめ、様々な手口があります。不正解錠や破壊等に抵抗できる玄関ドアの対策が必要です。



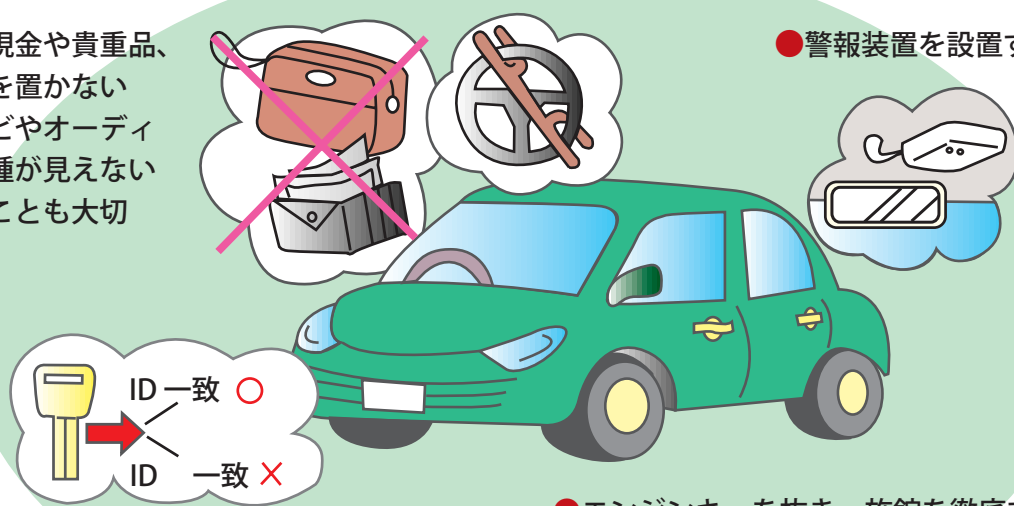
● 玄関ドアの対策

● 防犯性能の高い錠の例

自動車盗、車上狙い

自動車盗、車上狙いについては、めんどうがらず、盗難対策を徹底することが大切です。

- 車内に現金や貴重品、バック等を置かない
・カーナビやオーディオ類の機種が見えないよう隠すことも大切
- ハンドルロックバーを使用する
- 警報装置を設置する
- イモビライザー(※)を装着する
※合いカギや配線直結による自動車盗難にも極めて有効なセキュリティシステム
- エンジンキーを抜き、施錠を徹底する
・短時間でも必ずキーを抜いて、窓を閉め、ドアをロックする
・スペアキーを車内やバンパーの下に貼り付けない



- 路上駐車を避け、駐車場を利用する
- 一時駐車をする場合も、人目につく明るい場所を選ぶ

駐車場の安全性にも注意しましょう

【駐車場の注意点の例】

- 適切な明るさは確保されているか？
- 周辺の道路や建物からの見通しは確保されているか？
- 防犯カメラの設置や管理人の常駐・巡回などの必要な対策がなされているか？
- コンビニエンスストアやファミリーレストランの駐車場でも注意が必要です。



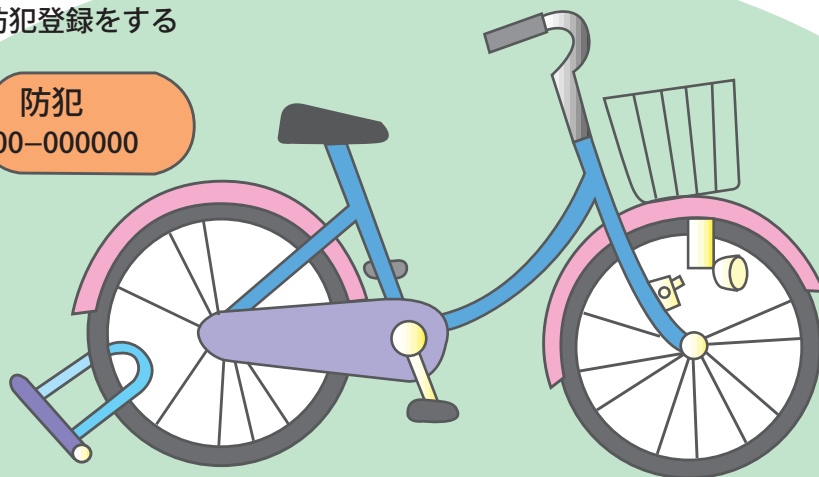


自転車盗、オートバイ

二輪車盗難対策の基本はツーロックです。犯行に時間をかけさせることで、被害を減らすことができます。

●防犯登録をする

防犯
00-000000



●補助錠を使う

- ・通常のカギ以外に、ワイヤーやチェーン、U字ロックをかける
- ・ポール等の固定物にくくりつける

●カギをかける

- ・短時間でも必ずカギをかける
- ・オートバイではハンドルロックをする

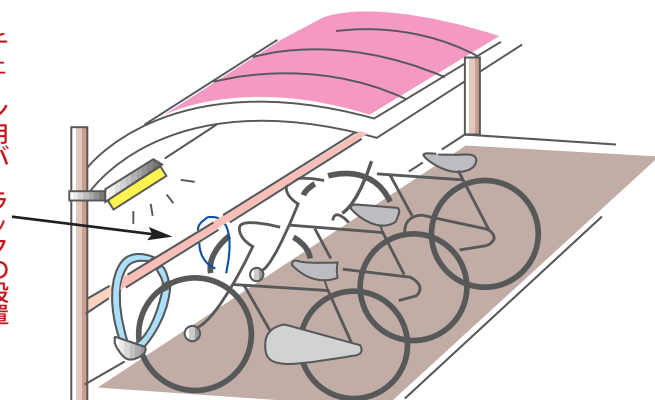
●路上駐輪を避け、駐輪場などを利用する

駐輪場の安全にも注意しましょう

【駐輪場の注意点の例】

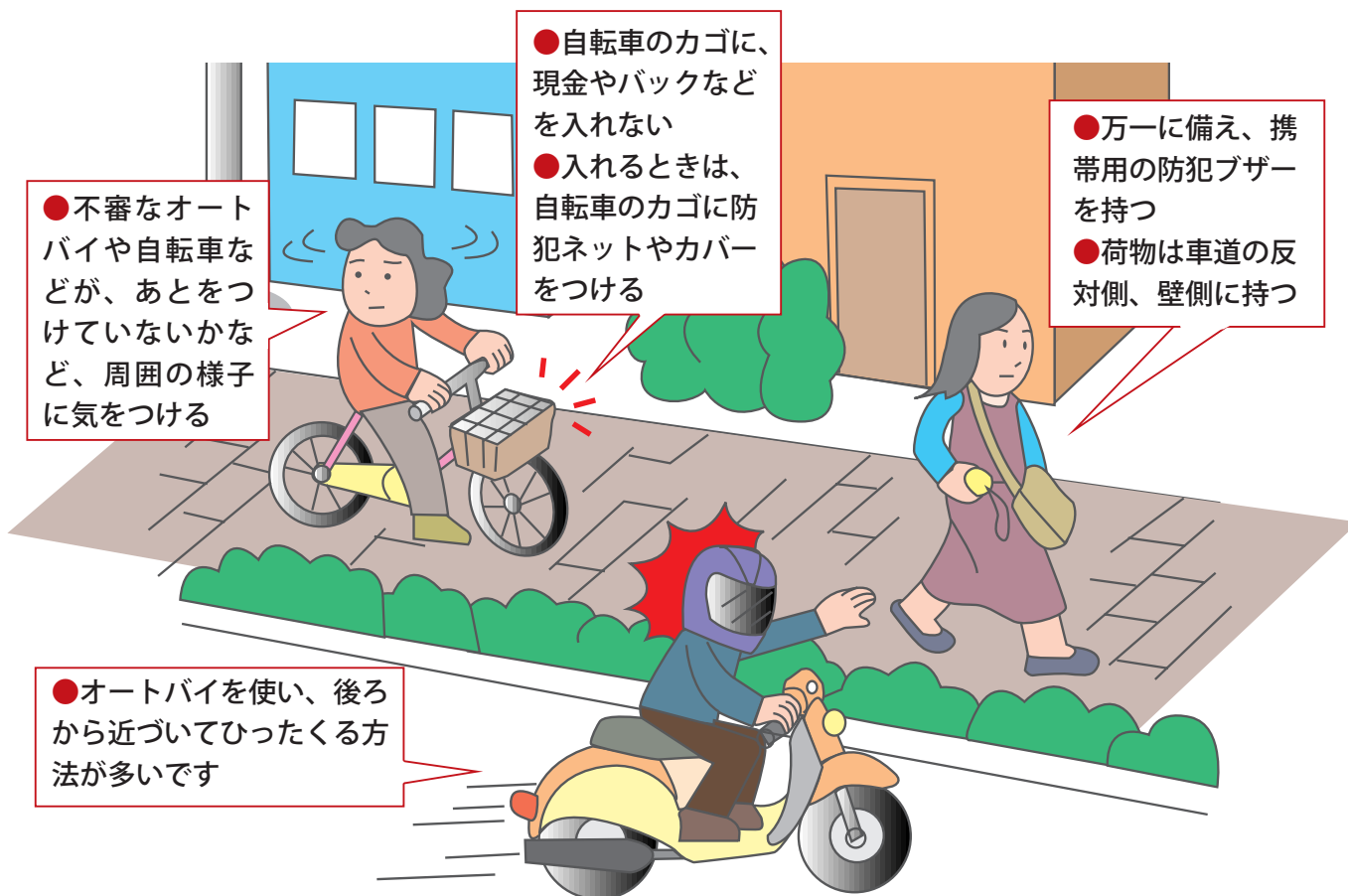
- 照度は確保されているか？
- 周辺の道路や建物からの見通しは確保されているか？
- チェーン用バーラックや、サイクルラック等が設置されているか？

チェーン用バーラックの設置



ひったくり

ひったくりの防犯対策は、自己防衛が基本です。一人ひとりが気をつけることで、犯行のスキを与えないようにしましょう。



- 人通りが少ない通りは、なるべく避ける
駅から繁華街を抜け、住宅地へ入ったあたりなど、人通りが少なくなるあたりでは特に注意が必要です。
- 歩車道の区別がある道を通るようにする

どろぼうの声

出展：（財）都市防犯研究センター

ひったくりの実行場所を選ぶ際に、半分以上の犯人が「付近の人通り」を最も重視しているようです。また、「歩道と車道の分離」を最も重視する者が、次に多いようです。

場所（地点）の選択で最も重視する要素

- 第1位 付近の人通り 52.8%
- 第2位 重視するものはない 11.1%
- 第3位 道路の形状 8.3%

第4位 道路の複雑性 5.5%

以下「付近の車両交通」「道路上の突起物の有無」「道路の明暗」「その他」が各2.8%で続いています。



途中狙い

銀行や郵便局といった金融機関でお金を下ろして帰る途中の人などを狙って、金品を盗む「途中ねらい」が急増しています。

途中狙いの代表的な手口



- ・「お金を落としましたよ」「服が汚れていますよ」などと、親切そうに声をかけて、はっとした瞬間に荷物を奪い去る
- ・足元にお金をばらまき、ターゲットが気を取られた隙に、現金やキャッシュカードなどを奪う

対策は、スキを見せないことです

- 銀行等の中や帰りは、特に注意する
 - ・ATM機で暗証番号を盗み見られることがあるので、後ろからのぞき見しているなど、不審な者（グループ）がいないか警戒を怠らない
 - ・銀行等から出た後は、自分の後をつけてくる者はいないか、振り返って確認する
- 声をかけられても、荷物をしっかり持ち、周囲を警戒する
- 高額の現金を引き下ろす場合は、できる限り複数で行くようにする

スリ・置き引き

スリも置き引きも、スキを与えないことが対策の基本です。

スリ対策：ズボンの後ろポケットなどのとられやすい場所に貴重品をいれない。

カバンの口をしっかり閉じる。

置き引き対策：荷物を手元か膝の上に置く
取っ手を握る等手放さない。



振り込め詐欺

「オレだよ、オレ。」などと子どもや孫を装って電話をかけ、「実は事故をおこしちゃって、すぐにお金が必要なんだ。」などと言い、お金を振り込ませたり、手渡しさせる「振り込め詐欺」が急増しています。

最近では、複数の犯人で役割を分担し、実に巧みなグループワーキングで金銭をだまし取ろうとするなど、犯行手口が非常に巧妙になっています。

オレって誰？

警察は示談金の話はしない

事故即弁護士ということはありません

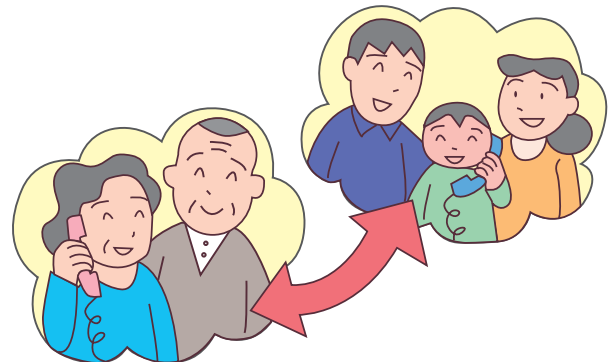


1. 事前の対策

- 電話にすぐに出ず、まず留守番電話に対応させる
- ニュースなどから、犯罪の手口などを知っておく
- 普段から、家族とのコミュニケーションを十分にとっておく
 - ・ 離れている家族は電話でよく連絡を取り合う
 - ・ 親子の間でお金のことは内緒にしない
 - ・ 友人の電話番号を知っておく（本人に連絡が取れないときのため）

★ 1ポイント

犯人は声を録音されるのを嫌がります



2. 振り込め詐欺に遭遇してしまったときの対応

- 自分から家族の名前を言わない
 - ・ 「オレって誰？」と聞き返し、相手に名前を言わせる
 - ・ うその名前を言ってみて、相手の反応を見る
- 相手が正しい名前を言った場合も、一度電話を切り、本人や家族などに確認をとる
- 客観的にうけとめ、おかしい点に気付けるようになる
 - ・ いつもは「親父」なのに今日は「父さん」と呼ぶ、など普段と違うところはないか
 - ・ 警察から示談金の話は絶対ないので疑うこと

しかし!

いくら手口を知っていても、「自分一人しか家にいない瞬間」「家族への連絡が取れない瞬間」などに電話を受けてしまえば、動揺してしまうかもしれません。



3. 動揺させられてしまったときの対策



- すぐに振り込まない
- 2箇所以上に確認する
(あるいは確認できるまで動かない)

被害にあわなかった例 娘を留学させている両親

突然「お嬢さんを預かっている……」という電話がかかり、泣いている女性の声に変わり、そして「お金を振り込め」と脅されました。

動転している母親に話を続けさせ、父親は娘さんの携帯に電話をかけました。しかし、つながらなかったため、次に娘さんと一緒に住んでいる友達に電話をしたところ、無事であることが確認できました。

子どもの友人の電話番号を知っており、いざというときに連絡できたことが、被害を防ぐことにつながりました。

「振り込め詐欺」の手口はほかにもあります。

「振り込め詐欺」には、他に「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金詐欺」などがあります。

● 架空請求詐欺

郵便、インターネット等を利用して、不特定多数の人に根拠のない請求を行い、現金を預金口座等に振り込ませるなどの詐欺

● 融資保証金詐欺

実際には融資しないにも関わらず、融資話をもちかけ、保証金等の名目で現金を預金口座等に振り込ませるなどの詐欺

● 還付金詐欺

区役所などと名乗り、保険金の還付の手続きと偽り口座から振り込ませる詐欺

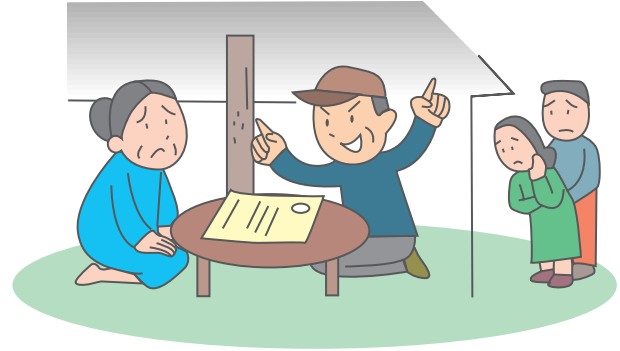
◎この他に、詐欺まがいのキャッチセールスなどの悪質商法もあります。

いずれの手口も振り込みを要求されるものです。「すぐに振り込まない」「一人で振り込まない」「2箇所以上に確認する」ようにしましょう。

リフォーム詐欺

悪質な住宅リフォームによる被害が拡大しています。詐欺の主な手口は、突然訪問して住宅を点検し、不具合を指摘して不安をあおったり、「今なら安くします」と契約をせかしたりして、工事契約に持ち込むというものです。

また、高齢者などが狙われやすく、同じ被害者に次から次へと契約させる手口も急増しています。



1. 事前の対策

- ニュースなどから、犯罪の手口などを知っておく
- 自分の家のことは、よく理解しておく



2. リフォーム詐欺に狙われてしまったときの対応

- 工事を即決しない
- 専門的なことは専門家に相談する
- 信頼のある業者から見積もりを取り、比較する
 - ・ 不意に訪れて、簡単に見られないところを点検する訪問セールスには注意する
 - ・ 本当に工事が必要かどうか、地元の工務店などに相談する。相談先がわからない場合は、「住まいの相談カウンター」へ（連絡先は次のページ参照）

被害にあわなかった例

訪問無料点検をやるというので、小屋裏に入って見てもらったところ、「梁にヒビ割れが入っているので、そのまま放置すると大変なことになる」と言われ、心配になりました。彼が勧める補強工事をお願いしようかと考えましたが、まずは、ある事業者団体に相談することにしました。

団体からは、近くの建築士を紹介され、現場を見てもらったところ、「材木は乾燥すると多少のクラックは入る。この梁は、構造的に大きな梁なので、この程度のクラックなら心配ない」と言われました。

工事を即決せず、専門家に相談できたことで、被害に至らずに済みました。

緊急連絡先



最寄の警察署、交番	
家族の連絡先	

【ポイント】

一緒に暮らしている家族の携帯電話や、離れて暮らす家族の連絡先をメモしておきましょう。また、家族が通う職場や学校、家族と仲の良い友人の連絡先を知っておくと、いざという時に役立つこともあります。

問い合わせ先

平成26年4月1日現在

住宅の耐震化、防犯対策、バリアフリー、新築、リフォームなどの相談は…	ハウスクエア横浜3F住まいの相談カウンター 〒224-0001都筑区中川1-4-1 電話045 (912) 7482 午前11時～午後5時（水曜日定休）
悪質商法には…	神奈川県警「悪質商法110番」 電話045 (651) 1194 (むごい商法なくしていい暮らし) 横浜市消費生活総合センター 〒233-0002港南区上大岡西1-6-1 電話045 (845) 6666 FAX045 (845) 7720 午前9時～午後6時(土日は～4時45分) (祝日、年末年始はお休みです)

それぞれの地域では、自治会町内会やPTAをはじめとする地域活動団体が、防犯に関する情報提供や呼びかけを行っています。広報やホームページ、掲示板を活用していたり、勉強会や講演会を開催して情報を提供するなど、地域によって様々な方法がとられています。これらの情報にも注目し、有効に活用しましょう。

●発行 平成18年3月
改訂 平成26年4月

横浜市市民局市民協働推進部地域防犯支援課

〒231-0017

横浜市中区港町1-1

TEL045-671-3705

FAX045-664-0734

●広報印刷物登録番号 第170576号 類別・分別 BDA030

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

こんにちは！ パト・ハートです！



「パト・ハート」

あいさつ大好き。お散歩大好き。
地域みんなの心が防犯に通じると信じている。
安全・安心できるまちづくりを目指し、日々防犯パトロール中。

子どもの安全や防犯に関する活動に、より親しみをもってください、
子どもたちを地域みんなで守っていくための「シンボルマーク」です。